

生活科における道徳教育と道徳科との関連

～命を大切にすること～

他教科での道徳教育と道徳科の学習が、どの程度密接に関連して行われているのか疑問を抱いたことが、本実践を構想する契機となった。改めて各教科で行う道徳教育、そして道徳科における道徳教育について、自分自身が整理する必要性を感じた。その上で、これまでの生活体験を踏まえて、道徳的価値観に関する価値判断の理由について自身に問いかける時間を道徳科の時間に設定したいと考えた。そうすることで、毎週1時間の道徳科の時間が各教科と密接に関わり、そして実生活に結びついていく時間へとつながるきっかけとなるのではないかと考えた。本実践では、他教科との関連の視点として、生活科における道徳教育に焦点を当て、体験で感じたり考えたりしたこと、自分自身の生活や成長について振り返りつつも道徳科の時間に取戻り上げることで、道徳的価値の意味について理解したり、自己を見つめたりする時間にしたと考えた。そして、生活科で行われた道徳教育を道徳科の時間に補ったり、深めたり、相互の関連を考へて整理させたり統合させたりする役割を果たし、他の実践へとつなげられることをめざした。



1 ダンゴムシのまるちゃん (光村図書2年)

本実践では、生活科「生きもの 大きき大はっぴい」(啓林館)の単元を生物に直接触れる体験(飼育)をおよそ4か月間に渡り継続的に行った。子どもたちは体験の過程で、成長や変化を捉えたり、それぞれの関係性に気付いたりすることができた。そして、飼育する中で「なぜだろう?」と疑問を抱き、解決に向けて調りたりする経験。また、うまくいかなかった経験や失敗を振り返ることが、様々な生き物に接して動きが止まった子どもたちの心に響きわたる。さらには、「毎日、餌やりをしなければならぬ」、「(A 希望と勇気、努力と強い意志)」、「生き物にも優しくしたい」、「(D 自然愛護)」、「命は大切だ」、「(D 生命の尊さ)」などの道徳的価値に触れることができた。単元終了には、飼育した生き物について伝え合う生き物交流会を設定し、分かったことや気付いたことを自分なりに表現していく中で、生き物を大切に育てることができた自分自身に気付いたり、様々な生き物への関心を高めたりしていくことができた。

2 空色の自転車 (光村図書2年)

本実践では、生活科「大きくなった自分を見つめよう」(啓林館)の単元を成長や変化に関する学習を行った。子どもたちは、これまでの自分自身の生活や成長を振り返る過程で、自分の成長や、その成長を支えてくれた人々の存在に気付くことができた。その際、「自分でできることが増えたなあ」、「(A 個性の偉大)」、「たくましく人に支えられてきたなあ」、「(B 感謝)」、「自分は大切に育てられているなあ」、「(D 生命の尊さ)」といった道徳的価値に触れることができた。

① どこにどんな生きものがあるか 見つけよう

生活科「生きもの 大きき大はっぴい」(啓林館)の単元を生物に直接触れる体験(飼育)をおよそ4か月間に渡り継続的に行った。子どもたちは体験の過程で、成長や変化を捉えたり、それぞれの関係性に気付いたりすることができた。そして、飼育する中で「なぜだろう?」と疑問を抱き、解決に向けて調りたりする経験。また、うまくいかなかった経験や失敗を振り返ることが、様々な生き物に接して動きが止まった子どもたちの心に響きわたる。さらには、「毎日、餌やりをしなければならぬ」、「(A 希望と勇気、努力と強い意志)」、「生き物にも優しくしたい」、「(D 自然愛護)」、「命は大切だ」、「(D 生命の尊さ)」などの道徳的価値に触れることができた。単元終了には、飼育した生き物について伝え合う生き物交流会を設定し、分かったことや気付いたことを自分なりに表現していく中で、生き物を大切に育てることができた自分自身に気付いたり、様々な生き物への関心を高めたりしていくことができた。

② 生きものをそだてる じゅんぴをしよう

生き物がすんでいる場所へ行ったり、本や図鑑で調べたり、人に聞いてみたりすることで、生き物の特徴や生き物がすんでいる場所の特徴に気付くことができるようになった。

③ 生きものをそだてる じゅんぴをしよう

生き物飼育で得た情報とともに、生き物のすみかや生き物に合った世話の仕方があったことに気付くことで、よりよい成長を願って継続的に関わることができるようになった。

④ 生きもののひみつをさがそう

継続して生き物を飼育し観察することで、その生き物の変化や成長の様子を知ることができ、自分たちと同じように生命をもち、成長していることに気付くことができた。

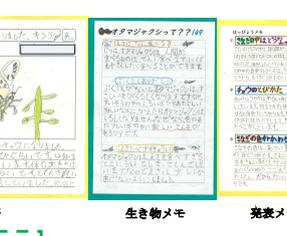
⑤ 発見したことをつたえ合おう

種類の生き物チームそれぞれで伝えたいことを共有し、その後、一人ひとりがチームの代表者(7人×5グループ)となり、伝え合う生き物交流会を設定した。分かったことや気付いたことを自分なりに表現する中で、生き物を大切に育てることができた自分自身に気付くことができた。また、その後7種類の生き物チームに戻り、聞いたことを交流することで、育てた生き物以外の他の生き物への関心も高めることができるようになった。

【 生き物BOOK 】



【 道徳科実践 】



【 道徳科実践 】

導入では、「どんな生き物を育てていましたか?」という発問に対する自分の考えを共有することで、本時の方向性を示した。体験を振り返りながら、「長生きしてほしい」、「大きき元気がほしい」、「などの生き物に対する、子どもたちそれぞれの思いや願いを共有することができた。展開では、道徳的価値に合った生き物の世話の仕方を共有することで、生き物の特徴を必要に応じて共有することができた。また、教材にある飼育条件で、ダンゴムシを大切に育てることができたかどうかを問うと共に、飼育の経験を振り返り、必要な条件について話し合うことで生き物に寄り添うことの大切さに気付くことができた。子どもたちは、「ダンゴムシの世話の仕方」について話し合ったこと、私は、「どんなことを考えていたと思いますか?」と問うことができた。以下が、子どもたちの考えである。

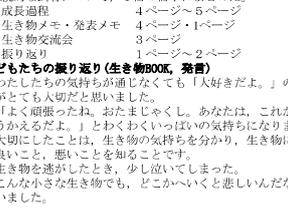
【 道徳科実践 】

導入では、「どんな生き物を育てていましたか?」という発問に対する自分の考えを共有することで、本時の方向性を示した。体験を振り返りながら、「長生きしてほしい」、「大きき元気がほしい」、「などの生き物に対する、子どもたちそれぞれの思いや願いを共有することができた。展開では、道徳的価値に合った生き物の世話の仕方を共有することで、生き物の特徴を必要に応じて共有することができた。また、教材にある飼育条件で、ダンゴムシを大切に育てることができたかどうかを問うと共に、飼育の経験を振り返り、必要な条件について話し合うことで生き物に寄り添うことの大切さに気付くことができた。子どもたちは、「ダンゴムシの世話の仕方」について話し合ったこと、私は、「どんなことを考えていたと思いますか?」と問うことができた。以下が、子どもたちの考えである。

【 道徳科実践 】

その後、「生き物を育てる中で、「生き物が喜んでくれたなあ。」と思ったことはありましたか。」と問う。子どもたちは生活科での飼育体験を思い出しながら、「自分たちには生き物BOOKを読み返したり、友達と自分の体験を共有した姿が見られた。そうすることで、飼育経験を振り返りながら、大切に育てることができた自分自身に気付いたり、育てることの楽しさや喜びに気付いたりする子どもたちの姿が印象に残った。終了には、「生き物を大切に育てよう」ということについて話し合ったこと、私は、「どんなことを考えていたと思いますか?」と問うことができた。以下が、子どもたちの考えである。

【 生き物BOOK 】



【 道徳科実践 】



【 道徳科実践 】

「『まるちゃん、喜んでくれるといいな。』と言ったとき、私は、どんなことを考えていたと思いますか。」に対する子どもたちの考え(道徳ノート、発言)

- ・まるちゃんが喜んでくれる家になしと家から出ていってしまうかもしれない。まるちゃんが一生の家に住んでほしい、いいところを作ろうと考えています。
- ・このほうが、自然に近くて、まるちゃんが喜んでくれると思った。
- ・思います。
- ・まるちゃんが、どう思うかが大切だと考えていたと思います。
- ・まるちゃんが、喜んでくれるのが大切だと考えていたと思います。ほは、まるちゃんが喜んでくれることが嬉しいです。
- ・私は、「でも、喜んでくれたらいいけど、どうしよう?」と、不安だ。
- ・最初のお家じゃ、まるちゃんが好きなものがなかったと聞いた。
- ・前に考えた遊園地みたいな家より、こっちの方がいいなあ。私の好きなものとダンゴムシの好きなものは、違うんだなあと思ってる。
- ・「でも、まだどうかな。まるちゃんにとっては、いやかな。気に入らないかな。ちょっと変えてみようかな。」と思ってる。

【 道徳科実践 】

「『まるちゃん、喜んでくれるといいな。』と言ったとき、私は、どんなことを考えていたと思いますか。」に対する子どもたちの考え(道徳ノート、発言)

- ・まるちゃんが喜んでくれる家になしと家から出ていってしまうかもしれない。まるちゃんが一生の家に住んでほしい、いいところを作ろうと考えています。
- ・このほうが、自然に近くて、まるちゃんが喜んでくれると思った。
- ・思います。
- ・まるちゃんが、どう思うかが大切だと考えていたと思います。
- ・まるちゃんが、喜んでくれるのが大切だと考えていたと思います。ほは、まるちゃんが喜んでくれることが嬉しいです。
- ・私は、「でも、喜んでくれたらいいけど、どうしよう?」と、不安だ。
- ・最初のお家じゃ、まるちゃんが好きなものがなかったと聞いた。
- ・前に考えた遊園地みたいな家より、こっちの方がいいなあ。私の好きなものとダンゴムシの好きなものは、違うんだなあと思ってる。
- ・「でも、まだどうかな。まるちゃんにとっては、いやかな。気に入らないかな。ちょっと変えてみようかな。」と思ってる。

【 道徳科実践 】

「『まるちゃん、喜んでくれるといいな。』と言ったとき、私は、どんなことを考えていたと思いますか。」に対する子どもたちの考え(道徳ノート、発言)

- ・まるちゃんが喜んでくれる家になしと家から出ていってしまうかもしれない。まるちゃんが一生の家に住んでほしい、いいところを作ろうと考えています。
- ・このほうが、自然に近くて、まるちゃんが喜んでくれると思った。
- ・思います。
- ・まるちゃんが、どう思うかが大切だと考えていたと思います。
- ・まるちゃんが、喜んでくれるのが大切だと考えていたと思います。ほは、まるちゃんが喜んでくれることが嬉しいです。
- ・私は、「でも、喜んでくれたらいいけど、どうしよう?」と、不安だ。
- ・最初のお家じゃ、まるちゃんが好きなものがなかったと聞いた。
- ・前に考えた遊園地みたいな家より、こっちの方がいいなあ。私の好きなものとダンゴムシの好きなものは、違うんだなあと思ってる。
- ・「でも、まだどうかな。まるちゃんにとっては、いやかな。気に入らないかな。ちょっと変えてみようかな。」と思ってる。

2 空色の自転車 (光村図書2年)

本実践では、生活科「大きくなった自分を見つめよう」(啓林館)の単元を成長や変化に関する学習を行った。子どもたちは、これまでの自分自身の生活や成長を振り返る過程で、自分の成長や、その成長を支えてくれた人々の存在に気付くことができた。その際、「自分でできることが増えたなあ」、「(A 個性の偉大)」、「たくましく人に支えられてきたなあ」、「(B 感謝)」、「自分は大切に育てられているなあ」、「(D 生命の尊さ)」といった道徳的価値に触れることができた。

2 空色の自転車 (光村図書2年)

本実践では、生活科「大きくなった自分を見つめよう」(啓林館)の単元を成長や変化に関する学習を行った。子どもたちは、これまでの自分自身の生活や成長を振り返る過程で、自分の成長や、その成長を支えてくれた人々の存在に気付くことができた。その際、「自分でできることが増えたなあ」、「(A 個性の偉大)」、「たくましく人に支えられてきたなあ」、「(B 感謝)」、「自分は大切に育てられているなあ」、「(D 生命の尊さ)」といった道徳的価値に触れることができた。

【 道徳科実践 】

導入では、「どんな生き物を育てていましたか?」という発問に対する自分の考えを共有することで、本時の方向性を示した。体験を振り返りながら、「長生きしてほしい」、「大きき元気がほしい」、「などの生き物に対する、子どもたちそれぞれの思いや願いを共有することができた。展開では、道徳的価値に合った生き物の世話の仕方を共有することで、生き物の特徴を必要に応じて共有することができた。また、教材にある飼育条件で、ダンゴムシを大切に育てることができたかどうかを問うと共に、飼育の経験を振り返り、必要な条件について話し合うことで生き物に寄り添うことの大切さに気付くことができた。子どもたちは、「ダンゴムシの世話の仕方」について話し合ったこと、私は、「どんなことを考えていたと思いますか?」と問うことができた。以下が、子どもたちの考えである。

【 道徳科実践 】

導入では、「どんな生き物を育てていましたか?」という発問に対する自分の考えを共有することで、本時の方向性を示した。体験を振り返りながら、「長生きしてほしい」、「大きき元気がほしい」、「などの生き物に対する、子どもたちそれぞれの思いや願いを共有することができた。展開では、道徳的価値に合った生き物の世話の仕方を共有することで、生き物の特徴を必要に応じて共有することができた。また、教材にある飼育条件で、ダンゴムシを大切に育てることができたかどうかを問うと共に、飼育の経験を振り返り、必要な条件について話し合うことで生き物に寄り添うことの大切さに気付くことができた。子どもたちは、「ダンゴムシの世話の仕方」について話し合ったこと、私は、「どんなことを考えていたと思いますか?」と問うことができた。以下が、子どもたちの考えである。

【 道徳科実践 】

その後、「生き物を育てる中で、「生き物が喜んでくれたなあ。」と思ったことはありましたか。」と問う。子どもたちは生活科での飼育体験を思い出しながら、「自分たちには生き物BOOKを読み返したり、友達と自分の体験を共有した姿が見られた。そうすることで、飼育経験を振り返りながら、大切に育てることができた自分自身に気付いたり、育てることの楽しさや喜びに気付いたりする子どもたちの姿が印象に残った。終了には、「生き物を大切に育てよう」ということについて話し合ったこと、私は、「どんなことを考えていたと思いますか?」と問うことができた。以下が、子どもたちの考えである。

① 大きくなった自分を見つめよう

これまでの学習や生活を振り返り、過去の自分の現在の自分を見つめながら、自分の成長や変化について考えるとともに、自分が大きくなったことやできることになったこと、役割が増えたことなどに気付くことができるようになった。

② 自分についてしらべよう

自分の成長や変化に関する学習を行った。子どもたちは、これまでの自分自身の生活や成長を振り返る過程で、自分の成長や、その成長を支えてくれた人々の存在に気付くことができた。その際、「自分でできることが増えたなあ」、「(A 個性の偉大)」、「たくましく人に支えられてきたなあ」、「(B 感謝)」、「自分は大切に育てられているなあ」、「(D 生命の尊さ)」といった道徳的価値に触れることができた。

③ 自分のせい長をまよめよう

自分の成長や変化に関する学習を行った。子どもたちは、これまでの自分自身の生活や成長を振り返る過程で、自分の成長や、その成長を支えてくれた人々の存在に気付くことができた。その際、「自分でできることが増えたなあ」、「(A 個性の偉大)」、「たくましく人に支えられてきたなあ」、「(B 感謝)」、「自分は大切に育てられているなあ」、「(D 生命の尊さ)」といった道徳的価値に触れることができた。

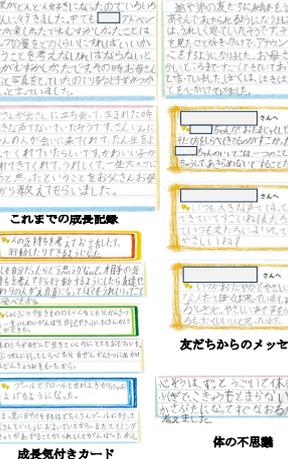
④ 体のふしぎについて考えよう

自分の成長や変化に関する学習を行った。子どもたちは、これまでの自分自身の生活や成長を振り返る過程で、自分の成長や、その成長を支えてくれた人々の存在に気付くことができた。その際、「自分でできることが増えたなあ」、「(A 個性の偉大)」、「たくましく人に支えられてきたなあ」、「(B 感謝)」、「自分は大切に育てられているなあ」、「(D 生命の尊さ)」といった道徳的価値に触れることができた。

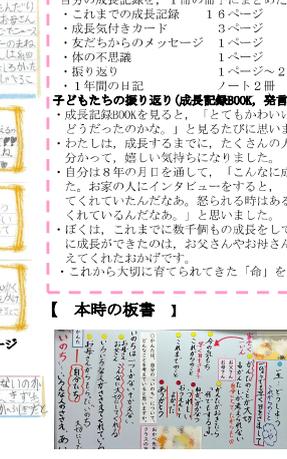
⑤ せい長した自分をつたえよう

自分の成長や変化に関する学習を行った。子どもたちは、これまでの自分自身の生活や成長を振り返る過程で、自分の成長や、その成長を支えてくれた人々の存在に気付くことができた。その際、「自分でできることが増えたなあ」、「(A 個性の偉大)」、「たくましく人に支えられてきたなあ」、「(B 感謝)」、「自分は大切に育てられているなあ」、「(D 生命の尊さ)」といった道徳的価値に触れることができた。

【 成長記録BOOK 】



【 道徳科実践 】



【 道徳科実践 】

導入では、「どんな生き物を育てていましたか?」という発問に対する自分の考えを共有することで、本時の方向性を示した。体験を振り返りながら、「長生きしてほしい」、「大きき元気がほしい」、「などの生き物に対する、子どもたちそれぞれの思いや願いを共有することができた。展開では、道徳的価値に合った生き物の世話の仕方を共有することで、生き物の特徴を必要に応じて共有することができた。また、教材にある飼育条件で、ダンゴムシを大切に育てることができたかどうかを問うと共に、飼育の経験を振り返り、必要な条件について話し合うことで生き物に寄り添うことの大切さに気付くことができた。子どもたちは、「ダンゴムシの世話の仕方」について話し合ったこと、私は、「どんなことを考えていたと思いますか?」と問うことができた。以下が、子どもたちの考えである。

【 道徳科実践 】

導入では、「どんな生き物を育てていましたか?」という発問に対する自分の考えを共有することで、本時の方向性を示した。体験を振り返りながら、「長生きしてほしい」、「大きき元気がほしい」、「などの生き物に対する、子どもたちそれぞれの思いや願いを共有することができた。展開では、道徳的価値に合った生き物の世話の仕方を共有することで、生き物の特徴を必要に応じて共有することができた。また、教材にある飼育条件で、ダンゴムシを大切に育てることができたかどうかを問うと共に、飼育の経験を振り返り、必要な条件について話し合うことで生き物に寄り添うことの大切さに気付くことができた。子どもたちは、「ダンゴムシの世話の仕方」について話し合ったこと、私は、「どんなことを考えていたと思いますか?」と問うことができた。以下が、子どもたちの考えである。

【 道徳科実践 】

その後、「生き物を育てる中で、「生き物が喜んでくれたなあ。」と思ったことはありましたか。」と問う。子どもたちは生活科での飼育体験を思い出しながら、「自分たちには生き物BOOKを読み返したり、友達と自分の体験を共有した姿が見られた。そうすることで、飼育経験を振り返りながら、大切に育てることができた自分自身に気付いたり、育てることの楽しさや喜びに気付いたりする子どもたちの姿が印象に残った。終了には、「生き物を大切に育てよう」ということについて話し合ったこと、私は、「どんなことを考えていたと思いますか?」と問うことができた。以下が、子どもたちの考えである。